

# 日本高齢者運動連絡会ニュース

発行責任者 藤谷 恵三 発行所 日本高齢者運動連絡会  
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5 シャンボール中野504号  
Tel/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com  
http://www.nihonkouren.jp

発行：毎月1日  
2016年3月1日  
No.307



「2・1 高齢者中央学習集会」(記事P2)

左から藤谷日本高連事務局長、開会挨拶 田中諭・全日本年金者組合、司会 田中英男・茨城県高連

## 第30回日本大会in東京大会準備進む 2・8「2月度高齢期運動推進事務局団体会議」開く 日本高齢者運動連絡会

日本高齢者運動連絡会は2月8日(月)午後、2016年2月度高齢期運動推進事務局団体会議を開き、10団体と事務局あわせて17人が出席しました。

冒頭、藤谷事務局長が「診療報酬改定の国民への影響」をテーマに情勢報告を行い、「自費医療の拡大や急性期病床の削減など2018年に医療・介護・年金など社会保障制度の大改定を行う露払いの改定となっている」と指摘しました。

各県、中央団体の活動報告の後、今年の2・1高齢者中央学習集会についての総括が行われ、「本来は、老人医療有料化の怒りの日なので学習会だけでなく中央省庁との交渉の場を設定してほしい」などの意見がでました。これ

らの意見をもとに来年度の内容を検討することとしました。

また、今回から中央の事務局団体会議として本格的な地域連絡会づくりの論議を始め、各県や団体の現状の交流を行いました。

今回のメインテーマは、東京大会の企画の論議でした。東京実行委員会から取り組みの到達点が報告され、記念講演のテーマや演者、講座や分科会のテーマや担当について意見交換を行いました。

最後に「2,000万署名」のとりくみについて意見交換し、日本高連としては特定の組織には参加せず、各県、各団体の取り組みを支援することとしました。

# 第30回日本高齢者大会in東京の成功めざし 地域の高齢期運動連絡会をつくるために 「2・1高齢者中央学習集会」に72人 日本高齢者運動連絡会



日本高齢者運動連絡会は第30回日本高齢者大会in東京・東京実行委員会との共催で、2月1日（月）午後「2016年2・1高齢者中央学習集会」を参議院議員会館会議室で開き、8都県と中央16団体からあわせて72人が参加しました。

東京大会成功のためには、それぞれの地域で高齢者のいのちと暮らしの問題にどうとりくむのかが重要な課題になっています。そこで、中心テーマに「高齢期運動と地域活動」を掲げ、今どんな地域活動が求められているのか、また日常的に高齢期運動をすすめる地域の組織がどうあるべきか、などについて東京の地域実行委員会や全国の地域連絡会の活動を学びました。



【基調講演】日野秀逸・東北大学名誉教授

最初に日野秀逸・東北大学名誉教授が「高齢期運動と地域活動」と題して基調講演。「日本国憲法と社会保障があるから、私たちは人間らしく生きられる」と述べ、戦争法を進める「安倍政治ノー」、社会保障を切り捨てる「安倍経済ノー」の声を地域で大きな声にすることが重要になっていると述べました。

2・1集会は老人医療無料制度が廃止された1983年から毎年開催されています。2月1日を老人福祉法の精神が放棄された日として記憶に刻み、それぞれの情勢に合わせて運動課題や政策要求などの学習や要請行動にとりくんできました。

特にアベノミクスでは、社会保障は削減だけでなく「儲け」の対象にされていることを指摘、地方創生など地域に焦点が当たっている時に、それぞれの地域で公共サービスを守り、住み続けるための条件を作ることの重要性を訴えます。

今年の2・1集会は、8月に東京で行う第30回日本高齢者大会を歴史的な節目の大会として成功させることを目的に開催されました。

報告では、第30回日本高齢者大会in東京の東京実行委員会が都内の全市区町村に実行委員会をつくるために活動していることが紹介され、三多摩地域や北区などで先進的な教訓があることが述べられました。

昨年の大会を成功させた和歌山県高齢期動



【報告】東京実行委員会  
森松・北区社保協事務局長、武市・実行委員会  
事務局長代理、小嶋・三多摩高運連代表



【報告】東京保健生協 練馬平和・社会・まち  
づくり委員会 吉田一夫委員長



【報告】和歌山県高齢者運動連絡会  
大森米三郎会長

連絡会の大森会長は「県内8地域で10年以上持ち回りで県大会を開き、すべての地域に高齢期運動連絡会があることが和歌山大会成功に結びついた」と報告。老人クラブからの参加者も100人を超え、この3年間は600人以上の参加者で成功していることを紹介し、「地域連絡会をつくるのが持続できて力強い運動になる秘訣」と述べました。

指定報告では、東京保健生協生活協同組合練馬平和・社会・まちづくり委員会の吉田一夫委員長が「地域に広げよう、健康づくりと支え合いの輪」と題して、東京での生協間協同のとりくみで行政も認める安心の見守り体勢ができたこと、居場所づくりや健康づくりで組合員も増えていることを紹介しました。

日本高連の藤谷事務局長は、東京の高齢者の実態から地域連絡会の必要性を強調。同じ23区内でも、子どもの増えている区、高齢



化率の下がっている区があること、区によって就業率が2倍以上違うこと、老人クラブの加入率は5倍の開きがあることなどを紹介し、



東京実行委員会・菅谷事務局長

「地域要求の聞き取りと行政ごとの要求実現運動がなければ高齢期運動は前進しない」

「そのためには中心となる人が決まった場所に座って運動を支える財政を作ることが必要」と述べました。

会場からの東京大会成功に向けた決意表明や地域での経験の発言があった後、第30回日本高齢者大会in東京・東京実行委員会事務局長

の菅谷氏が、「東京大会は、1万人という目標で、高齢者大会の30周年を総括し、新しい飛躍を作る場。そのために国の隅々まで高齢者の地域連絡会をつくりましょう」と締めくくりました。

## 「憲法を生かし 戦争法廃止を」 「いまこそ 人間らしく生きるために手をつなごう」 東京大会サブスローガン決める

「東京実行委員会ニュースより」

第30回日本高齢者大会in東京の年を迎えて、1月13日、新年第1回の常任実行委員会を開きました。

菅谷事務局長からの方針提起の中で、第30回日本高齢者大会をどんな大会にするか①人間らしく生きるために、憲法と社会保障を守る国民的な課題に取り組む②高齢者大会の30周年を総括し、新しい質の大運動を提起する③国の隅々に高齢期運動の地域連絡会をつくる契機にするという、30回大会の意義を再確認しました。

続いて、東京実行委員会としての大会サブスローガン(標記)を確認しました。また、実行委員会の体制の補強のために、青年・女性組織に積極的に働きかけることを確認。

確認事項として、第30回大会を2日間延べ1万人で成功させるためには、地元東京からの参加者延べ7千人をめざします。

すでに地域実行委員会を立ち上げ、積極的な取り組みを始めている地域もあります。みんなの力で東京大会を成功させるために奮闘しましょうーなどを決めました。

### 全国を励ます大会めざし

#### 講座・分科会など 2月末までに確定

全国からの参加者を励まし、高齢期運動の発展に力が出る全体会、情勢にかみ合い、参加者の要求に応えられる講座・分科会などの企画にもひと工夫凝らした「さすが東京」と

言われるような準備もしたいと思います。

2月末までには企画の大枠を固められるよう努力中です。

### 大正大学キャンパスを見てきました

常任実行委員会は1月18日午後、大会1日目の会場となる「大正大学」の下見をしました。都心にある大学で交通の便も良く、JR・地下鉄・都電・バスとさまざまな方法でアクセスできます。

校舎もコンパクトに配置されており、参加者の移動もスムーズに行える印象を持ちました。校舎の空調、エレベーター、トイレなどの設備も良くストレスなく大会に参加できる会場です。

とげぬき地蔵尊・高岩寺（曹洞宗萬頂山高岩寺）の近くで、巢鴨地蔵尊通り商店街の散策も楽しめます。

### すべての地域で「地域実行委員会」確立を

東京実行委員会では、すべての地域に「地域実行委員会」の結成を呼びかけています。12月に結成した北区実行委員会ではすでに3回の会議が行われ、文京区では1月29日、足立区では2月4日に地域実行委員会総会が行われます。

三多摩の組織についても議論が行われ、三多摩実行委員会を確立し、そこを軸に三多摩の状況を把握し、三多摩各地域の実行委員会

をつくり取り組むようになります。

地域実行委員会は、大会成功のカギのひとつです。同時にその運動が高齢期運動の今後の発展の土台ともなりますので、大いに議論を深め、地域実行委員会をつくりましょう。

#### 【地域からの報告】

##### 第27回北区高齢者集会

27年以上続いている北区高齢者集会が「広く手をつないで平和で安心なまちづくり」をテーマに、11月16日東京土建北支部会館で開かれ、130人の参加者で賑わいました。

午前は、新婦人などによるちぎり絵、折り紙・切り絵などの体験コーナー、母親連絡会、JAL労組、福祉クラブなどによるバザー、また絵画や刺子に加え、地域の写真クラブの展示コーナー、東京ほくと医療生協による体年齢、骨密度測定などの健康チェックも開かれました。

午後は、年金者組合によるハーモニカ演奏でオープニング。記念講演は、ジャーナリスト柴野徹夫氏による「自公政府 本格的に戦

争への暴走開始～アメリカの戦争支援 武器弾薬・原発の売り込み～」について戦争法の危険が講演されました。「戦争できる国づくり、安倍政権に対してのジャーナリストとしての怒り」「今、人々は追い詰められ、生きる道がわからなくなっている」ことが講演されると、会場発言から「戦時中1500人の若者が乗った日本軍の輸送船が、アメリカの潜水艦の魚雷で目の前で撃沈されていくのを見た。今もその時の光景が頭から離れない。これが戦争です」と当時の模様が語られました。

北区では集会終了後、8月の日本高齢者大会に向けての北区実行委員会（現在参加8団体）が結成され、1月には3回目の会議も開かれます。北区実行委員会では参加目標を400人と決め、北区に絡んだ分科会企画を提案しようなどの論議が開始されています。日本高齢者大会成功にむけて共にがんばりましょう。

（高齢者集会北区実行委員会

事務局長 森松伸治）

## 10人の補強意見と新事務局長選出 2・19「第19回神奈川県高齢期運動連絡会総会」

神奈川県高齢期運動連絡会



神奈川県高齢期運動連絡会は 2月19日、第19回総会を13団体・個人34人の参加で開催しました。

総会の冒頭に日本高齢者運動連絡会の藤谷恵三事務局長が「高齢者が人間らしく生きるための協同のまちづくり～『第30回日本高齢者大会in東京』の成功のために～」と題して記念講演をおこないました。

藤谷氏（写真）は、高齢者をめぐる情勢と削減される社会保障の実態について述べ、①現在の高齢期運動の課題は何か②どんな運動と組織が求められているのか③東京大会に向けて何をやるかなど、高齢期運動の解決すべき課題、求められる組織のあり方などについて率直に提起しました。また、東京大会の意義と位置づけ、神奈川県高齢期運動連絡会の果たす役割について述べ、東京大会の成功を呼びかけました。

討論では10人の方から、①高齢者の貧困の実態を情勢で補強し、具体的な運動課題として取り組むこと②川崎での有料老人ホームでの殺人事件は介護労働者の劣悪な労働条件が背景にある③老人医療が無料だった時代を知らない人が多くなり、あらためて神奈川県に



塚原信介 新代表委員



土志田公佳 代表委員

対して「高齢者の医療費の助成を求める」運動をおこなってほしい④昨年川崎で起きた簡易宿泊所の火災死亡事件は、背景に貧困ビジネスがある。高齢者の住宅問題を位置づけた運動の展開を⑤高齢期運動連絡会は来年20回の総会を迎える。運動の歴史を残すために「20年のまとめ」をおこなってほしい⑥東京大会に向けて『高齢者川柳』を募集し、分科会を設けてほしい等々、高齢者を取り巻く情勢、運動課題など積極的な意見が出され、今年の

運動課題として補強することを確認し、「総会アピール」を含めて全ての議案を満場一致で承認しました。

最後に新しく事務局長に選出された大河原貞人氏が「高齢期運動の課題は現役世代の課題でもあり、全世代共有した運動にしていこう。高齢期世代に全面的な攻撃がかけられている今日、加盟団体と個人の協力で運動の飛躍と転換をはかろう」と閉会あいさつをおこない終了しました。

## 「高齢者予算要求書」説明と回答求めて 日本高齢者運動連絡会・東京都老後保障推進協議会が厚生労働省と予算交渉

### 日本高齢者運動連絡会

日本高齢者運動連絡会と東京都老後保障推進協議会の代表は、2月9日、厚生労働省の担当者と来年度予算について交渉しました。この交渉は、昨年12月16日に2団体が厚労省に提出した「平成28年度 高齢者予算要求書」に関する回答説明会を兼ねて行ったものです。

交渉には、社会・援護局、保険局、医政局、老健局、職業安定局から担当者が出席、18項目の要請内容への回答とそれに対する質疑・意見交換を行いました。

日本高連と都労協から「後期高齢者医療制度の廃止、介護保険制度の改善、特別養護老人ホーム増設、介護労働者の待遇改善、高齢者の就労の確保、高齢者の虐待と犯罪予防」などを要望しました。

質疑の中で、厚労省側と「高齢者の生活の実態や統計には出てこない現実についての認識が大きく違う」ことが明らかになったことから、高齢者側からは「忙しくて現場を見る機会が作りにくいのは承知しているが、今のうちにぜひ現場に足を運んで欲しい」、「社会保障費は削減しないと国が持たないと思っているようだが、充実させて国を発展させる道もあるのでないか」などを主張しました。

交渉の後、参加者間で、「年に1回の交渉の場だけでなく、要請内容を実現するための運動を全国各地で日常的に行えるようにしよう」「厚生労働省の政策に高齢者の声を反映させるためには、客観的なデータが必要」など話し合いました。

## 日本高齢者運動連絡会のホームページをリニューアル

今年は、「日本高齢者大会30周年・日本高齢者運動連絡会結成25周年」という記念すべき年に、日本高齢者運動連絡会(東京都中野区中央)のホームページをリニューアル公開することができました。

現在国会では、社会保障の大幅切り捨て、日本を戦争する国にするための 軍事費増大予算案の国会提出、夏の参議院選挙対策の「軽減税率」の論議、「高齢者3万円給付金」などが取り上げられています。

安倍政権は、高齢者の悩みや苦しみに正面から応えようとせず、票欲しさのみえすいたバラマキなど、高齢者をバカにした施策を進めています。

このような情勢の中で、本会の目的である「高齢者の生活と権利を守り、要求実現を通じて、国民の権利としての高齢期保障確立、地位の向上をめざします」を目指し、高齢者のいのちとくらしを守るたくましく、広範な高齢期運動を発展させ、さらに、今年の8月の1万人規模での「日本高齢者大会in東京」の成功を支援すべく、これに役立つ情報を、このホームページから発信してまいります。

<http://www.nihonkouren.jp>

※第29回日本高齢者大会in和歌山 報告集 (定価 1,200円)

※第29回日本高齢者大会in和歌山 DVD (定価 500円)

☆高齢者運動連絡会関係限定販売

<特色> 和歌山大会の記録 ダイジェスト(15分)

安斎育郎氏の記念講演(70分)

※篠崎次男氏著 高齢期運動のブックレットNo.2

「日本における高齢期保障の歩みと高齢期運動」

を学ぶテキストとして最適です。(定価500円)

発刊(社)日本高齢期運動サポートセンター

\*お申し込みはFax 03-3384-6654

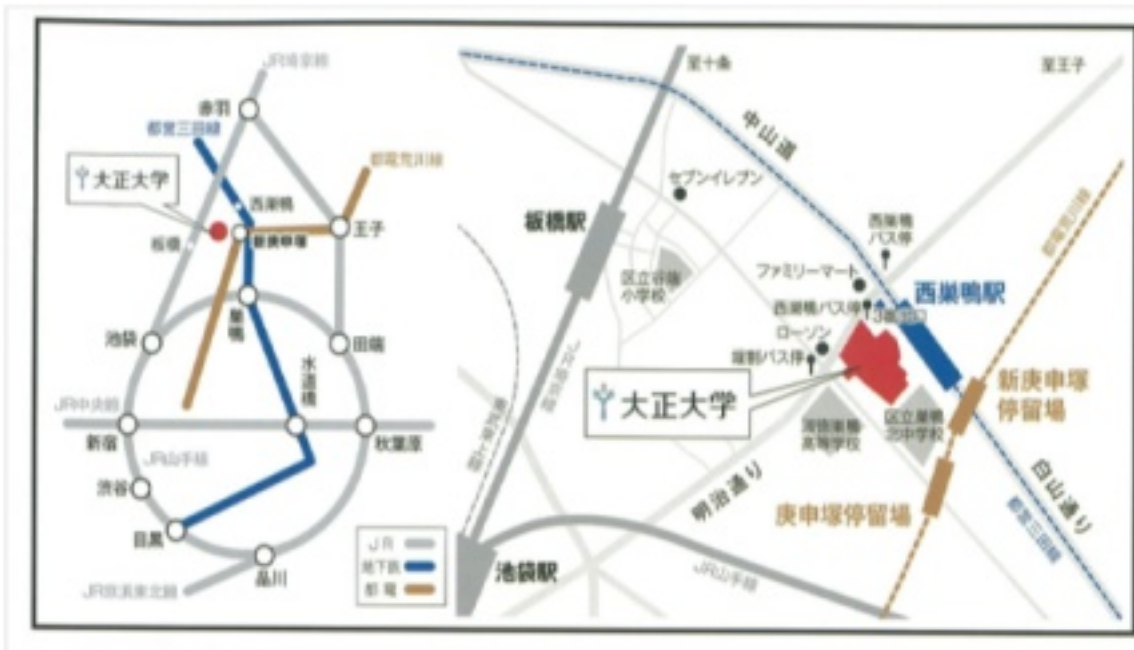
### 第30回日本高齢者大会in東京

2日目 全体会(8月29日:東京国際フォーラム)は  
10:00~13:00になりました

# 第30回日本高齢者大会in東京 会場

◇1日目 8月28日(日)講座・分科会 大正大学

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1



電車の場合

東京駅から約30分

東京（山手線内）⇒巣鴨（都営三田線乗換）⇒西巣鴨

- ・ 都営地下鉄三田線・・・西巣鴨駅下車 徒歩2分
- ・ JR埼京線・・・板橋駅東口下車 徒歩10分
- ・ 都電荒川線・・・新庚申塚駅又は庚申塚駅下車 徒歩7分

◇2日目 8月29日(月)全体会 東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目5番1号



・電車の場合

JR 有楽町駅より徒歩1分

- ・ 東京駅より徒歩5分（京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡）

地下鉄

- ・ 有楽町線 有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡